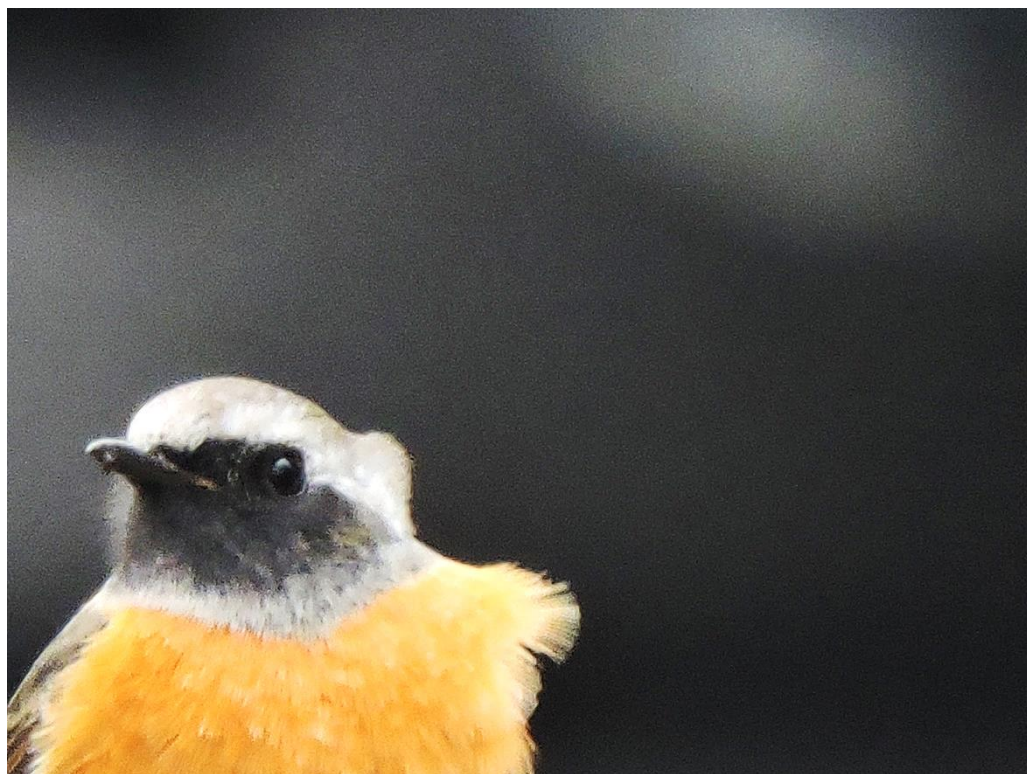


令和4年1月号 (2021.12月撮影)

1. ジョウビタキ【尉鶺】 (スズメ目・ヒタキ科) (デイパーク大府遊歩道周辺)

体長は 13.5-15.5 cm、体重 13-20 g。スズメよりわずかに小さい。 何度このシリーズに登場していますが、この時期にやってきてきれいな姿を見せてくれる冬の代表的な野鳥です。以前は日本では繁殖していない鳥だったんですが、最近では日本でも繁殖が確認されているようです。住み着いてしまっているジョウビタキがいるってことになります。下の写真は、デイパーク大府前遊歩道に毎年やってきているジョウビタキの雄の写真です。

写真は風が強い日にもかかわらず、フェンスの上に止まって鳴いていて、風で寝ぐせのように羽が巻き上がって

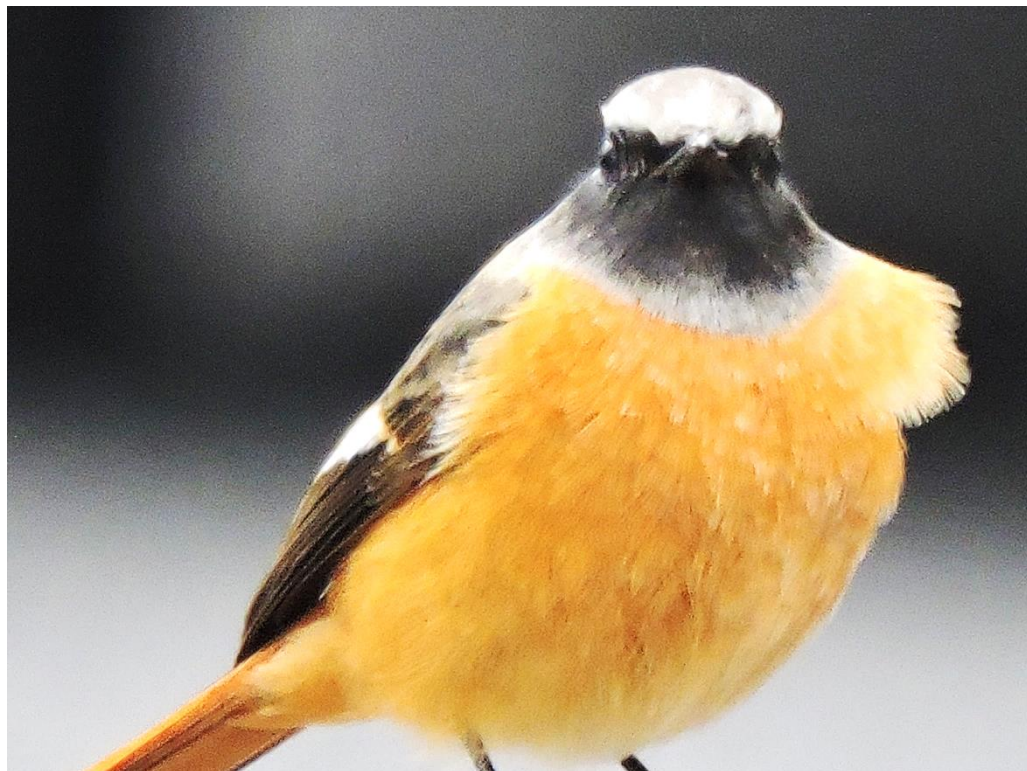


いるところをアップでとりました。

ジョウビタキはこの時期、家の周りでも見ることが出来ますので、たまにバードウォッチングでもしながら、のんびりしてみてもいいでしょうか？

特徴的な鳴き声なので、声がしたら、探してみてください。短く「ヒ・ヒ」とか「カッ・カッ」とクリック音のように泣きます。

こういった自然が、自分たちの周りに残っていてほしいと思います。



ジョウビタキ君には申し訳ないですが、次回はルリビタキを狙ってみようかと思っていますが、なかなかいないのでどうなるかわかりません。